

会 議 録

会 議 名	第1回三芳町公立保育所民営化検討委員会
開 催 日 時	平成28年5月25日（水） 14時開会 15時50分閉会
開 催 場 所	301会議室
出席者氏名	河津委員、河崎委員、三ツ木委員、長棹委員、伊藤委員、茂木委員、 草間委員、宮木委員、駒村委員、寺崎委員、逢野委員
欠席者氏名	なし
事務局職員	こども支援課 杉山課長、渡辺主幹、平野主査 政策推進室 百富室長、江田主任
傍聴者	3名
会議次第及び会議資料 別添のとおり	
<p>【会議結果】</p> <p>○ 委員長等選任</p> <p>委員からの推薦により、河津英彦委員を委員長として選任。 委員長の職務代理者は、駒村こずえ委員が指名された。</p> <p>○ 検討委員会の基本的な考え方</p> <p>町内の保育の質の向上を基本とし、町の保育サービス、子育て支援サービスの中身を落とさないようにするためにはどのような方策が必要かを主眼にする。保育所のあり方等、町のサービス全体としてどういう枠組みにしていくのかを議論する。</p> <p>○ 子ども・子育て新制度、町内の保育施設及び子育てサービス関連施設について説明</p> <p>委員間での情報共有及び共通理解を図った。</p> <p>(委員からの主な確認事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所内保育所の認可施設への転換による活用の是非 ・子育て支援センター3か所の利用状況 ・病児病後児への対応や休日保育の実施状況 	

- ・ファミリーサポートセンターの活動状況（土日対応等）
- ・就労形態の多様化に伴う保育需要の把握状況

（委員からの主な意見等）

- ・ファミリーサポートについては、役場が実施しているので日曜日は休みという考えがあるのでは？
- ・週休2日制が定着してきていると思うが、昔のように家庭内の祖父母や近所の人が親の代わりに面倒を見るという対応は、現代では絆が弱くなっている中で難しくなっている。そのために社会的なサポートが手厚くなっている。
- ・ファミリーサポートセンターは、会員のうち提供会員の割合が高いので、他市町のファミリーサポートセンターに比べ機能しているのではと思う。

○ 年少人口と保育需要の推移について

町の保育需要については、今後も高止まりにあるということを確認。

（委員からの主な確認事項）

- ・待機児童の数と現状

（委員からの主な意見等）

- ・都市部では4歳・5歳になるとほとんどの子どもが幼稚園や保育所に入っている。問題となるのは、0歳から2歳までの子どもだと思う。

○ 保育所に対する補助金制度の変更点について

国庫補助金の一般財源化により、公立保育所運営への影響があることを確認

○ 町の子ども子育ての課題

自由意見として、各委員から意見をいただく。

（委員からの主な意見等）

- ・財政的な問題があることはわかるが、公立保育所の運営費の課題は何か？人件費比率等の資料がほしい。
- ・公立保育所の課題や民営化のメリット・デメリットがあれば。
- ・就労形態の変化により保護者の方の大変さも伝わってくるが、保育時間が朝早くからまたは夜遅くまでとなった場合、子どもの幸せを考えながらどのように保育をするかを考える必要がある。
- ・民営化によってどのような変化があるのかわからないことが不安である。保育内容や費用等変化があるのか。
- ・公立と民営の違いが分かりづらい。メリット・デメリット等があれば。
- ・子どもたちが元気に幸せに生活できるようになるよう検討していきたい。

- ・基本的に子どもや家庭の最善の利益をめざしたい。現状を変えるのであれば、質の低下を招かないように、むしろその向上につながるような議論ができれば。
- ・財政面の課題以外はあるのか？（事務局より、人材面の課題もあると説明。）公立保育所には、財源の問題もあり、人材の問題もあるということだろう。
- ・子どもを預けている保護者の方の意見等が聴けてよかった。誰もが自分に一番いいようにという考えがあると思うが、安心して子どもを預けられるような環境ができればと思う。

○ 次回会議への資料の要望

- ・人件費資料のほかに、保育士の配置状況等の資料もほしい。
- ・保育時間内に、教育的なこと等を独自に行っているところがあれば、その資料がほしい。

○ 次回日程調整

—————会議終了—————